



2024年3月12日

各位

会社名 ミガロホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 中西 聖
(コード番号 5535、東証プライム)
問合せ先 取締役 CFO 岩瀬 晃二
(TEL. 03-6302-3627)

2024年3月期第3四半期決算に関するQ&A

2024年2月7日に公表した2024年3月期第3四半期決算に関しまして、公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問合わせ、感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。

なお本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に、自主的に実施するものであります。決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

Q 1. 2024年3月期第3四半期の利益率が上期に比べて低い原因を教えてください。

A 1. 当社の収益の柱であるDX不動産事業は、引渡基準で収益の認識をしております。今期は、上期に粗利率の高い新築物件の引渡しが集中し、第3四半期は中古引渡しがメインとなりました。新築と中古の粗利率の差は約10%程度の違いがあり、上期に対し、下期は相対的に利益率の低い中古物件の引渡しがメインとなることから、第3四半期の利益率が低くなったように見えておりますが、上期と比較して、商品毎の利益率が著しく低下したり、営業利益率を下げようとする販管費の発生がしているわけではございません。

Q 2. 顔認証プラットフォーム「FreeiD」のユーザー数が前年に比べると大幅に伸びているが主な理由が何か教えてください。

A 2. 大手企業の建築現場への導入やオフィスへの導入、大手デベロッパーが開発するマンションへの導入が順調に伸びたため、ユーザー数は加速度的に増加しています。

Q 3. 顔認証FreeiDでマイナンバーカードとの連携や顔認証決済等、新しい広がりを感じますが、今後はどのような場所でひろがっていきますでしょうか。

A 3. 現在のところ、京都府亀岡市以外の自治体からもお話を頂いていますが、今後もマンションへの導入を進めつつ、マルチプラットフォームとして広がっていくことを期待しています。また、今後の新たな展開といたしましては、店舗運営の省人化や自動化による流通・小売業における人手不足などの社会課題の解決を目指し、FreeiDを活用した「顔ダケで、買い物」という世界観のもと顔認証決済サービスの事業化をPOS連携も含めて検討してまいります。

Q 4. 昨今、DXの推進などによってIT人材の需要が高まっており、高度な技術をもったエンジニアの採用が厳しいと聞きますが、採用は順調に進んでいるのでしょうか。

A 4. 採用費を多額にかけた高度な技術をもったエンジニアの中途採用はそこまで積極的に行っておらず、社員紹介などによる中途採用を行っております。また、新卒採用に関しては、グループ各社で順調に採用することが出来ており、加えて M&A をすることにより IT 人材の確保もできております。

Q 5. 1月にも株式取得の発表をして M&A を積極的に取り組んでいるように思いますが、今後もこのペースで積極的に M&A は進めていく予定でしょうか。

A 5. ホールディングス化後、より一層注力する領域となる DX 推進事業は、現体制においても前事業年度の2倍近い成長をできると考えていますが、今後の成長性をさらに伸ばすべく、今後も積極的に M&A 及び優秀な人材の獲得に注力していきます。ホールディングス化による事業体制の明確化により、多少なりともあった不動産事業の DX を推進している子会社、というイメージは無くなりました。そのため、足許では M&A 案件の相談件数も増加傾向にあります。

<ご参考>

- ・2024年3月期第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結) 2024年2月7日公表
- ・2024年3月期第3四半期 決算説明資料 2024年2月7日公表

以上

<免責事項>

- ・本資料は、企業説明・決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2024年2月7日公表の2024年3月期第3四半期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。